



地域連携便り

第34号 平成29年4月発行

けいなん総合病院

地域連携委員会

御挨拶

院長 政二 文明



皆様には日頃より当院の活動に御理解と御支援を賜りまして厚くお礼申し上げます。

このたび病院長の大役を拝命いたしました。微力ではございますが、頸南地区の地域医療を守り、さらに発展させるために力を尽くす所存ですので旧来に変わりませずよろしく御鞭撻をお願い申し上げます。

さて当院は昭和13年、頸南地区に病院をという地元の皆さんの強い御要望により、いわば医療組合の形で発足しました。その後変遷をへて新潟県厚生連の一員となって今日に至っておりますが、その設立の精神は受け継がれ、地域の市民病院としての役割を果たしてきました。このところの急速な高齢化、人口減少、日本経済の沈滞などの変化はまさに歴史的ともいふべきものであります。病院は生き残りのためにこれらの圧力への迅速かつ的確な適応を求められています。そこで、従来から私どもが果たしてまいりました役割であるところの、成人・高齢者の中等度までの急性期疾患治療、小児医療、休日・夜間の救急診療、ドック・検診に加えまして、今後は急性期を脱した患者さんの回復期医療、リハビリテーションにも力を注いでまいります。

医療は患者さんを中心として、御家族、病院のスタッフ、そして福祉関係者など多くの方々のチームワークの良さが成果を左右します。当院はチームワークを大切にし、スタッフ一同が患者さんに寄り添う心のこもった地域にねざした医療を心がけてまいります。地域の皆様におかれましては引き続き暖かい御支援をくださいますようお願い申し上げます。

MRI 装置更新のお知らせ

地域医療の先生方にはいつも大変お世話になっております。この度は、MRI の入れ替えにて 2~3 月の期間、検査をお受けできずご不便をおかけし申し訳ございませんでした。4 月から稼働しております最新 MRI（シーメンス社製 MAGNETOM Amira 磁場強度 1.5 テスラ）について、紹介させていただきます。



1. 高画質

高密度コイルと最新のソフトウェアバージョンによるさまざまな臨床へのアプローチで、高精細画像や臨床有用性の高い画像の描出を可能にします。すべての撮像領域において高画質が得られるシステムとなっています。

2. 短時間撮影

高速撮像が可能のため以前より短時間で検査が行えます。腹部領域においては、呼吸に同期させた撮像法の進化、撮像の高速化により検査時の息止め時間が短縮できます。

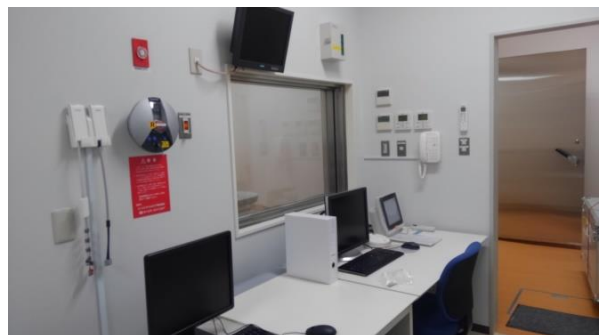
3. 動き補正

動きに強い撮像技術を用いているため、高齢の方の検査などで息止め管理や動きの抑制が難しい状況下でも、安定して検査が行えるようになり、息止めのない通常呼吸下での検査や、動きの影響を大幅に抑制した検査が可能になります。

4. 検査の快適性（静音撮像技術）

高画質を担保しながら従来よりも騒音を低減する静音技術機構により被検者の心理的負担を軽減します。また被検者の圧迫感を軽減した装置デザインにより快適な検査を提供します。

旧 MRI 装置からご愛顧頂いております先生方には従来通りに、まだ当院に検査を依頼された事の無い先生方にも、この機会に是非一度検査を依頼いただき、画像をご覧頂ければ幸いです。当院地域連携室（TEL 代表 72-3161）にて電話予約いたします。地域の医療機関の先生方との連携を強化することにより、地域の皆様により良い医療を提供できるように努力して参りたいと思います。何卒よろしく願いいたします。





～医師紹介～



ふせ みちこ
小児科 布施 理子



趣味：読書 登山

4月より小児科に赴任いたしました、布施理子と申します。
卒後6年目、小児科医としては4年目であり、至らぬ点もあるかと存じますが、地域医療に貢献できるよう、頑張ります。
ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

～事務長 紹介～



いたがき しろう
事務長 板垣 史朗

趣味：最近はなかなかできませんが釣りとスキーです。
長岡中央総合病院（初任地）勤務時代は妙高杉野原にかなりの回数通いました。一番好きなスキー場です。

4月に厚生連本部から転勤して参りました。自宅は村上市（粟島汽船乗り場の近く）で今回初めての単身赴任となります。住んでみて素晴らしい景色と美味しい空気、職員や地域の方々の温かさに触れ感激しております。
当院は地域にとってなくてはならない大事な病院です。現在医師の負担軽減を図る目的から1病棟（50床）を休眠せざるを得ない状況ですが、医師確保の取り組みを最優先に掲げ休眠病棟の再稼働を目標とし取り組んで参ります。引き続き皆様からのご理解ご支援をお願いいたします。

～お知らせ～

4月より金曜日の午前 整形外科外来が増えました。
関 英子医師 受付時間9：00～11：30

地域連携懇談会報告

3月16日（木）地域の「施設職員と病院の連携懇談会」を開催しました。当日は11施設より20名の方から参加していただきました。

病院から、MSW斉藤より「退院支援の取り組み」について説明後、グループに分かれて意見交換を行いました。主に受診時における連携方法について意見をいただきました。回数を重ねるにつれ施設職員様とも「顔の見える関係」になってきているように感じます。懇談会の場だけでなく、病院の現場においても声をかけあっていきたいと思えます。

会の後半は、歯科口腔外科の藤田医師から「在宅での口腔ケア」の講演をしていただき食べることの大切さを学びました。



巡回診療報告

1月から3月までの冬期間、病院受診が困難という患者様の許へ診療に出かけてまいりました。今回は、当院で定期的に受診されている長沢地区の患者様を対象としました。長沢会館を会場に1回5～8人の患者様の診療を行いました。

患者様同士談笑し和やかな雰囲気の中で診療が進むなか、先生の手を握り「ここまで来てくれてありがとうございます」と皆さんが、笑顔でお礼を言われた姿が印象的でした。診療メンバーに保健師も同行し冬期間の生活等のお話も聞かせていただきました。

実施にあたり多くの方の御協力をいただきました。ありがとうございます。今後も地域のニーズに寄り添った医療の提供が必要であると強く感じました。

